

2024年8月8日

関電不動産開発株式会社

## 豪州ニューサウスウェールズ州レッピングトンにおける 宅地開発事業への参画について

関電不動産開発株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：福本恵美）は、今般、豪州において、現地法人 Kanden Realty & Development Australia Pty Ltd（以下、KRD Australia）を通じて、新たな宅地開発事業に参画することとなりましたので、お知らせいたします。

参画する案件は、豪州ニューサウスウェールズ州シドニーを中心に不動産開発を行う Castle Group（本社：シドニー、CEO：Ritchie Perera、以下、Castle Group 社）がシドニー近郊レッピングトンで開発を行う宅地開発事業（以下、本プロジェクト）です。

### 記

#### ■参画の背景及びプロジェクトの特徴

当社は、現地優良パートナーである Castle Group 社が主導するシドニー近郊の本プロジェクトへの参画を決定いたしました。当社が豪州で参画する宅地開発プロジェクトとしては3件目となります。本プロジェクトは、シドニー南西部の「レッピングトン」エリアにおいて、宅地開発・分譲を行う計画で、総区画数64区画、総面積約4haの宅地開発事業です。

レッピングトン周辺は、州政府が推進する都市計画に則り高速道路や鉄道などのインフラ整備が進められております。これらの交通整備に伴う都市成長への期待感から、著しい人口成長を遂げているエリアです。シドニー中心地までは車で45分、西シドニー国際空港（2026年開業予定）までは車で15分という好立地に位置します。本プロジェクトの周辺には、商業施設や学校、コミュニティセンターがあり快適な住環境が確保されているため、高い生活利便性も備えております。

#### ■今後の豪州における展開

当社は、海外不動産事業全体における豪州の投資割合を現状の約2割から3割以上に引き上げるべく、今後豪州における投資を一層拡大していく方針です。2022年から、現地企業に出向社員を1名派遣するなどしノウハウ蓄積をはかってまいりましたが、2024年中を目途に、投資用ビークルとして設立した KRD Australia を有人化することも検討しており、豪州においてより盤石な事業体制を整備していく方針です。

当社は今後、本プロジェクトへの参画を通じて、豪州における不動産事業に関する知見をより一層拡充していくとともに、宅地開発事業のみならず、集合住宅開発事業、オフィス・物流施設等の開発や運営事業への投資も検討してまいります。またニューサウスウェールズ州以外の州においても更なる事業参画の機会を探求し、豪州における更なる収益拡大を目指します。

## ■物件概要

所在地 : 1375 & 1383 Camden Valley Way, Leppington, NSW, Australia  
総区画数 : 64 区画 (敷地面積 : 約 4 ha)  
スケジュール : 着工 / 2024 年 7 月  
竣工・引渡 / 2025 年 10 月予定



© Castle Group

## ■Castle Group 社について

本プロジェクトを主導する Castle Group 社はシドニー都市圏を中心に宅地開発を行う不動産開発会社です。2007 年設立当初から幅広く不動産開発事業を手掛けてきましたが、2012 年からは、シドニー郊外北西部を中心に宅地開発に注力し、約 50 プロジェクトを遂行してきた実力派の中堅デベロッパーです。直近では 1,000 戸以上の新規宅地供給を予定しております。また、CEO である Ritchie Perera は、地元コミュニティへの寄付活動を行うなどの社会貢献活動を通じて、単なる事業活動にとどまらず、持続可能な社会の実現に向けた取組みを積極的に行っております。

商号 : Castle Group  
代表者 : Ritchie Perera  
設立 : 2007 年

## ■本ニュースリリース配付先

大阪建設記者クラブ、国土交通記者会

以 上